



2020年10月30日

各 位

会 社 名 ハリマ化成グループ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 長谷川 吉弘
 (コード番号 4410 東証第一部)
 問合せ先 上席執行役員
 経理グループ長 上辻 清隆
 (TEL. 06-6201-2461)

第2四半期連結累計期間業績予想と実績との差異および

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2020年5月1日に公表しました2021年3月期第2四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、また、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年3月期の通期(2020年4月1日～2021年3月31日)の連結業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

I. 業績予想値と決算における実績値との差異について

2021年3月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績の差異(2020年4月1日～2020年9月30日)
 (単位:百万円, %)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期 純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	34,500	650	650	450	17.92 円
今 回 発 表 実 績 (B)	30,105	356	157	343	13.67 円
増 減 額 (B-A)	△4,395	△294	△493	△107	—
増 減 率 (%)	△12.7	△45.2	△75.8	△23.8	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	36,981	2,238	2,297	1,549	60.93 円

II. 差異が生じた理由

当第2四半期累計期間の業績は、売上高につきましては、海外事業は、中国での製紙用薬品事業が堅調であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、販売数量の減少があり、前回の予想を下回りました。また、国内事業も、新型コロナウイルス感染症の影響により、販売数量の減少があり、売上高は、前回の予想を下回りました。

営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、売上高の減少により前回の予想を下回りました。

Ⅲ. 業績予想の修正

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

（単位：百万円，％）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	73,000	1,900	1,900	1,350	53.77円
今回修正予想（B）	62,000	1,100	900	1,150	45.75円
増減額（B－A）	△11,000	△800	△1,000	△200	－
増減率（％）	△15.1	△42.1	△52.6	△14.8	－
（ご参考） 前期実績（2020年3月期）	71,799	3,752	3,589	2,217	87.67円

Ⅳ. 修正の理由

世界経済は、当面、新型コロナウイルス感染症の影響が続くと見込まれ、先行きが不透明な状況が続いています。日本経済においても、感染症の影響による厳しい状況が続くと見込まれます。従いまして、当社の関連する業界も厳しい状況が続くと見込まれ、売上高、営業利益、経常利益、親会社に帰属する当期純利益は、前回の予想を下回る見込みとなりました。

※上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上